

文化生涯学習課

1 文化振興事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書135ページ]

市民に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化振興事業を実施するもの

(1) 彫刻のある街づくり事業

多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理を行った。

作品名及び作者は、次のとおり

ア	「Harmony」(ステンレススチール製)	松本 憲宜
イ	「生命の樹と授かりものたち」(ブロンズ製)	松本 雄治
ウ	「花の柱」(本小松石製)	平山 隆也
エ	「リバイアサン」(ブロンズ, 河原石製)	天野 裕夫
オ	「風のフォルム」(赤みかげ石製)	須藤 博志
カ	「童の夢」(黒みかげ石, 白みかげ石製)	宮澤 光造
キ	「プリアテル」(ブロンズ製)	前田 忠一
ク	「大地の使者」(黒みかげ石製)	鈴木 武右衛門
ケ	「Nymph」(黒みかげ石, 桜みかげ石製)	平井 一嘉
コ	「町村制100周年記念碑」(ブロンズ製)	作者不詳

(2) 姉妹都市等交流事業

調布市の姉妹都市である長野県木島平村と、市民と村民との相互理解と交流を図るため、文化活動を中心とする交流事業を実施した。

ア 姉妹都市交流事業

(ア) 姉妹都市木島平村体験バスツアー

市民に姉妹都市木島平村の魅力を知っていただき、市民と村民との交流を深めるため実施している木島平村へのバスツアー事業を実施した。

事業名	実施日	参加者数(人)	事業概要
木島平村体験バスツアー「家族で木島平! スキー・スノーボードツアー」	3月8日 ～10日	65	家族で木島平村のスキー場を楽しんでもらうため、リフト券付きのフリープラン

(イ) 調布・木島平交流クラブバスツアー

調布・木島平交流クラブとの共催により、木島平村へのバスツアーを3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
田植え体験バスツアー	6月3・4日	29	田植え体験, アスパラ狩り体験等の実施
稲刈り体験バスツアー	9月30・10月1日	28	稲刈り体験, 戦没画学生慰霊美術館 無言館の見学等の実施
リンゴ狩り体験バスツアー	11月11・12日	36	小諸懐古園の見学, 曹洞宗岩松院の見学, リンゴ狩り等の実施

イ 姉妹都市交流事業助成

木島平村との文化, スポーツ, 教育等を通じた交流事業を行う各種団体に対し事業費を

助成するもの

助成団体数 なし

ウ 姉妹都市宿泊費助成事業

市内在住・在勤・在学者等が、木島平村内の指定された宿泊施設に宿泊する際の宿泊費を助成した。

延べ利用泊数 875泊（うち、中学生75泊，65歳以上200泊，その他600泊）

エ その他の交流の取組

令和5年度中学生被爆地平和派遣事業に参加した“ちょうふピースメッセンジャー2023”が制作したメッセージボードを木島平中学校「けやき祭」で展示した。

実施期間 令和5年9月29・30日

会場 木島平村立木島平中学校

(3) 平和祈念事業

調布市国際交流平和都市宣言及び調布市非核平和都市宣言の理念に基づき、幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため、各種平和事業を実施した。

また、「平和首長会議（平成22年加盟）」や「日本非核宣言自治体協議会（令和3年加入）」の加盟自治体として、世界の恒久平和を希求する自治体との連携や平和交流を実施した。

ア 中学生被爆地平和派遣事業（ピースメッセンジャーの取組）

次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目的に実施する事業。

市内在住・在学の中学生を市民の代表“ピースメッセンジャー”として広島へ派遣し、被爆遺構や広島平和記念資料館を見学したほか、被爆体験講話を聴講した。

派遣の前後の学習会をはじめ、子どもたちの学習支援としてNPO法人ちょうふ子どもネットと連携し、派遣後は、国際理解講座2023～世界の“いま”と平和を考える～で市民に向けて報告会を実施したほか、市内公共施設等でピースメッセンジャー及びピースメッセンジャージュニアが作成したメッセージボードの巡回展示を実施し、学びの成果を広く市民へ還元した。

派遣実施日 令和5年7月31日から8月2日まで

参加者数 12人

イ ピースメッセンジャージュニアの取組

FC東京との連携により、FC東京の夏のアウェイゲーム開催にあわせて市内在住・在学の小学生（5年生・6年生）を“ピースメッセンジャージュニア”として大阪・広島へ派遣し、サッカーJリーグの競技観戦や平和祈念施設の見学など、平和学習の取組を推進した。

派遣実施日 令和5年8月6・7日

参加者数 9人

ウ 「ちょうふピース部」の取組

これまでに任命されたピースメッセンジャーたちが、派遣された年度以降も継続的に活動ができるよう、「ちょうふピース部」を創設し、ピースメッセンジャーの学習会のサポートや交流を行ったほか、市が毎年発行している平和祈念情報誌「ピース・レターちょう

ふ」の特別版を作成した。

エ 平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の発行

夏の平和事業の紹介及び平和に関する情報を発信するため「ピース・レターちょうふ」を発行した。

発行 令和5年7月

発行部数 17,500部

オ 調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト

平和首長会議が実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に応募する作品を選定するため、市内在住・在学の子どもの対象に作品を募集した。各部門に市独自の賞を設け、受賞者10人に表彰状を授与した。

実施期間 令和5年7月3日から同年10月10日まで

募集部門 6歳～10歳の部, 11歳～15歳の部

応募数 全23作品

賞名 調布市長賞

調布市議会議長賞

調布市教育長賞

調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞

調布市国際交流協会理事長賞

カ 調布市平和展

戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への思いなど、展示を通して様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会として開催した。長崎市から借用した被爆資料やピースおおさか 大阪国際平和センターから借用した「沖縄戦とひめゆり学徒隊パネル」, 「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト」応募作品のほか、市の平和に関する各種取組について展示した。

また、調布市原爆被害者の会の協力の下、被爆体験者による講話を開催した。

開催日 令和5年8月22日から同月27日まで

会場 文化会館たづくり2階 北ギャラリー

来場者数 465人

キ 平和事業連絡会

平和祈念事業を実施している関係各課（館）と、所管する事業について書面で情報共有を行った。

開催回数 2回

ク その他の平和祈念事業

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業概要
防災行政無線による黙とうの呼びかけ	8月6日, 9日, 15日, 3月10日			広島・長崎への原爆投下, また, 東京大空襲で犠牲となった方々のご冥福を祈るとともに, 世界の恒久平和の実現を祈念するため, 防災行政無線による黙とうの呼びかけを行った。呼びかけは, ピースメッセンジャー

				2023が行った。
調布市非核平和都市宣言40周年記念事業 国際理解講座2023 ～世界の“いま”と平和を考える～	12月9日	グリーンホール	210	調布市非核平和都市宣言40周年記念事業。世界に目を向け、平和について改めて考える機会として、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアによる活動報告、ウクライナ出身の留学生による文化、料理等の講話や、NPO法人地球のステージによるコンサートを実施した。

(4) パラハートちょうふ関連事業

共生社会の充実に向け市が掲げる「パラハートちょうふ」の理念のより一層の普及啓発を図るため、各種事業を実施するもの

文化芸術の振興による共生社会の充実に向けて、多様な主体との連携により、多彩なアートとの出会いを通じて、「パラハートちょうふ」を広める取組を「パラハートちょうふ meets ART」と題し、実施した。

ア パラアート展2023

市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施し、作業所等が日常の活動の中で制作した「自主制作作品」を展示した。

また、「調布よさこい」と協力開催として実施し、よさこいイベント会場において、パラアート展2022で制作したはっぴや大旗を使用するなどの連携を図った。加えてパラアート展開催後、調布市障害者スポーツ体験会やトリエ京王調布での作品展示を行い、取組の普及啓発に努めた。

開催期間 令和5年8月22日から同月27日まで

会場 文化会館たづくり南ギャラリー

来場者数 1,941人

イ ビッグハートプロジェクト

「パラアート展」の応援企画として、新たなプロジェクトを実施した。“パラハートちょうふ”にちなみ、カラフルなガムテープでつくる手のひらサイズのハートを繋ぎ合わせて大型アート作品を完成させた。市内福祉団体に加え、調布ゆかりのアーティストやプロスポーツ選手など、様々な分野から多くの方々に参加・協力いただき、約11,800枚のハートが集まった。完成した作品はデザインデータ化し、文化会館たづくりの館内装飾等に活用した。

展示期間 令和5年8月20日から9月21日まで

(5) 文化・芸術団体事業助成

ア 深大寺短編恋愛小説

深大寺の由来として今も伝わる「深大寺縁起絵巻」の恋物語を企画の拠りどころとし、「恋愛」をテーマに、「深大寺地域」を舞台とした小説を公募するもの。353作品の応募があり、6作品が入賞した。

イ 調布市文化協会との連携

事業名	実施月日	会場	事業概要
他縣市文化協会との研修交流	5月29日 1月12日	群馬県草津町役場 文化会館たづくり	他自治体文化協会との情報共有や交流を図るもの 令和5年度は、草津町文化協会と龍ヶ崎市文化協会の計2回の交流を実施した。
第39回木島平村夏祭り	8月12日	ケヤキの森公園（長野県木島平村）	姉妹都市の長野県木島平村の夏祭りに参加するもの
第68回調布市民文化祭	10月12日 ～11月12日	文化会館たづくり、 グリーンホールほか	市民の文化活動の発表の場として、実行委員会を組織し市民文化祭を開催した。

2 国際交流事業 予算科目（款・項・目）10・35・05〔決算書135ページ〕

地域の国際化を高め、市民の創意と活力を生かしながら、市民を中心とした草の根の国際交流を進める調布市国際交流協会に対し補助金を交付し、支援を行うとともに、市民団体との共催などによる国際理解事業を行うもの

(1) 外国人専門家相談会

外国人支援及び多文化共生の推進を図るため、調布市国際交流協会に業務委託を行い、弁護士や行政書士などの専門家が一堂に会し、多言語の通訳ボランティアによる協力の下、外国人住民が抱える多岐に渡る悩みや生活相談に対応する「外国人のための専門家相談会」を実施した。

なお、（一財）東京都つながり創生財団が都内で実施される同様の取組をとりまとめて情報発信している「外国人のためのリレー専門家相談会」との連携事業とし、外国人の相談機会の確保につなげた。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
外国人専門家相談会	10月14日	文化会館 たづくり	15 (14組)	英語、中国語、韓国語に対応可能な通訳ボランティアを配置して実施した。

(2) 共催事業

調布市国際交流協会との共催事業として、以下の事業を実施した。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
調布市非核平和都市宣言40周年記念事業 国際理解講座2023 ～世界の“いま”と平和を考える～（再掲）	12月9日	グリーンホール	210	国際理解講座の内容の1つとして、調布市国際交流協会の会員であるアナスタシア・ポリシュチュク氏を講師に迎えて「ウクライナのこと」の講演を開催した。

「やさしい日本語研修」	11月20日	文化会館 たづくり	59 ※監理団体職員、 調布市国際交流協会会員含む	前年度に引き続きやさしい日本語アドバイザーを講師に市職員及び関連団体合同の研修会を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。行政文書をやさしい日本語に翻訳し、言い換えた内容が、当日参加した調布市国際交流協会の外国人会員に通じるか確認しながら取り組んだことで、実践的な演習の場になった。
交流事業（バスツアー）	11月18日	山梨県 忍野村ほか	27	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、密を避けるため外国人のみの募集で実施した。なお、ウクライナ避難民の方々にも参加いただく機会となった。

(3) サウジアラビア王国との交流

2002 FIFAワールドカップ日韓大会時に調布市がサウジアラビア王国代表チームのキャンプ地となったことを契機に交流が始まったもの

ア サウジアラビア文化展

市とサウジアラビア王国のこれまでの交流の紹介やサウジアラビアの伝統的な民芸品、テント及び写真の展示を実施した。

開催期間 令和5年11月18日から同月23日まで

会場 文化会館たづくり北ギャラリー

来場者数 731人

(4) ウクライナ避難民への支援

ウクライナから非難された方の市内における当面の生活を支援するため、一時金の支給を実施したほか、調布市国際交流協会の協力による日本語学習支援や翻訳・通訳サポート支援等の取組を実施した。また、東京都と連携した情報共有により、ウクライナ避難民の方の交流の場を提供した。

3 消費生活対策事業 予算科目（款・項・目）10・35・10〔決算書137ページ〕

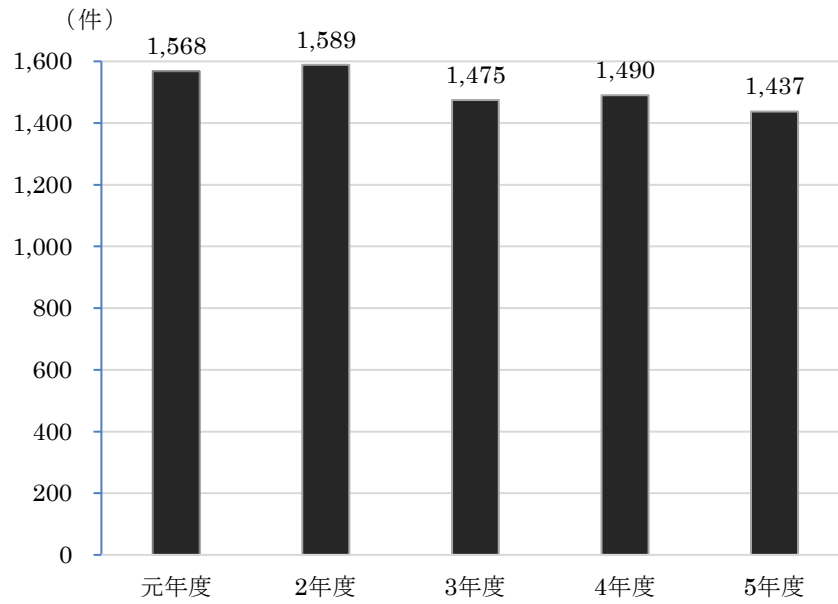
(1) 消費生活相談

市民の消費生活の安定と向上を確保するため、消費生活センターを設置し、専門の資格を有する消費生活相談員が、来所、電話による相談を受け付けるもの

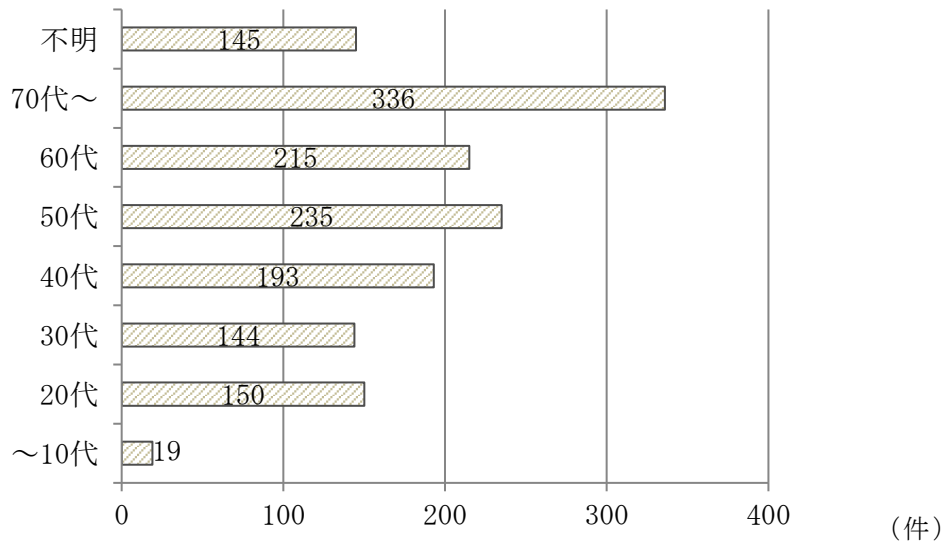
また、消費生活相談員は、相談業務とともに、消費者トラブルの未然防止のため、市報及び市ホームページのコラム執筆や、調布FMへの出演のほか、出前授業等による消費者啓発事業に携わった。

相談員体制 月曜日～金曜日 3人, 第2土曜日午前中 2人

ア 年間相談件数の推移



イ 年代別件数



ウ 処理結果別相談内訳

種類	件数 (件)	割合 (%)
他機関紹介	28	1.95
助言 (自主交渉)	1,182	82.25
その他情報提供	41	2.85
あっせん解決	144	10.02
あっせん不調	12	0.84
処理不能	6	0.42
処理不要	15	1.04
継続	9	0.63
合計	1,437	100.00

※ 「他機関紹介」とは、センターの相談処理業務の範囲外の相談内容で、賃金不払いの苦情に対し、労働基準監督署を紹介した事例等

※ 「助言 (自主交渉)」とは、相談員のアドバイス等により、相談者が事業者に自ら交

渉することで解決したもの

- ※ 「その他情報提供」とは、センターの相談処理業務の範囲内の相談内容で、あっせん・助言（自主交渉）に該当しない多重債務に係る一般的な相談先である法テラス等を情報提供した事例等
- ※ 「あっせん解決」とは、相談員が相談者と事業者の間に入ることで、解決がみられたもの
- ※ 「あっせん不調」とは、インターネット通販の定期購入等において、事業者があらかじめ定めた返品特約を踏まえて相談者が契約した相談内容で、相談者と事業者との間で解決に至らなかった事例等
- ※ 「処理不能」とは、相談者に連絡が取れなくなった等の物理的理由で処理できなかったもの
- ※ 「処理不要」とは、相談者が単にセンターに情報を提供しただけであり、処理を望んでいないもの
- ※ 「継続」とは、引き続き相談を行っているもの

エ 商品別相談内訳

商品大分類	件数（件）	割合（％）
商品一般	107	7.45
食料品	88	6.12
住居品	60	4.17
光熱水品	14	0.97
被服品	79	5.50
保健衛生品	117	8.14
教養娯楽品	129	8.98
車両	33	2.30
土地建物	56	3.90
他の商品	0	0.00
クリーニング	6	0.42
レンタルリース	90	6.26
工事建築	47	3.27
修理補修	44	3.06
管理保管	3	0.21
役務一般	3	0.21
金融保険	93	6.47
運輸通信	98	6.82
教育	11	0.77
教養娯楽	126	8.77
保健福祉	85	5.91
他の役務	96	6.68
内職副業	11	0.77
他の行政	13	0.90
他の相談	28	1.95
合計	1,437	100.00

オ 内容別相談内訳（複数回答）

相談内容分類	件数（件）	割合（％）
安全衛生	44	1.86%
品質機能	129	5.44%
法規基準	5	0.21%
価格料金	173	7.30%
計量量目	1	0.04%
表示広告	87	3.67%
販売方法	575	24.26%
契約解約	1,201	50.67%
接客対応	137	5.78%
包装容器	2	0.09%
施設設備	6	0.25%
買物相談	2	0.09%
生活知識	2	0.09%
その他	6	0.25%
合計	2,370	100.00%

(2) 消費者教育事業

消費者教育の推進に関する法律を踏まえ、広く市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な判断・行動により、消費生活を営むことができるように各種事業を実施するもの

ア 夏休み親子消費者講座（開催1回、12人）

事業名	実施月日	会場	参加者数（人）	事業目的	講師名
親子で学ぶお金の使い方 ～クイズや貯金箱を作って楽しく学ぼう～	8月18日	文化会館 たづくり 1002学習室	12 (5組)	お金についての正しい知識を身に着け、クイズや貯金箱工作などで楽しみながらお金の大切さを学ぶ。	金融広報アドバイザー 吉田 淳子

イ 消費者講座（開催5回、112人）

事業名	実施月日	会場	参加者数（人）	事業目的	講師名
消費者講座「食の安全と食品表示」	6月23日	文化会館 たづくり 映像シアター	24	安心・安全な食生活を送るために、食品表示法の改正を踏まえ、栄養成分表示の見方や特定保健用食品・栄養機能食品・機能性表示食品の違いを学ぶ。	食品表示アドバイザー 消費者問題研究所 垣田 達哉
消費者講座「はじめよう！エシカル消費」	10月26日	文化会館 たづくり 映像シアター	16	環境に配慮したものを毎日の暮らしの中でできるところから、エシカル消費を取り入れることを学ぶ。	公益社団法人 日本消費生活 アドバイザー・コンサル タント・相談 員協会消費者 教育委員会副 委員長 坂根 裕子
東京都・調布市共	11月	文化会館	14	だまされない消費者に	中央大学文学

催講座「だまされない消費者になるための心理学」	21日	たづくり映像シアター		なるために、これまでの経験や固定観念にとらわれず、だまされないよう心理学の視点から考察し、解決策を学ぶ。	部教授 有賀 敦紀
消費者講座「知って得する片づけ術～元気なうちに実家も我が家も～」	12月 19日	文化会館 たづくり 1002学習室	38	最近の高齢者宅の実態や片づけの成功例等、高齢になってから慌てない片づけ方法について学ぶ	一般社団法人 実家片づけ整 理協会 渡部 亜矢
消費者講座「生命保険と税金の知識」	2月 22日	文化会館 たづくり 映像シアター	20	生命保険と関係が深い3種類の税金「所得税・相続税・贈与税」についての基礎的な知識について事例を交えながら学ぶ	公益財団法人 生命保険文化 センター生活 情報室 専任 講師 八木下 純一

ウ 出前講座（開催6回、参加者832人）

消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供等消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が生涯にわたって消費生活について学習できるよう支援する。

また、出前講座のうち1回は、成年年齢が引き下げられたことを踏まえ、調布市相互友好協力協定を結んでいる電気通信大学の入学ガイダンスで、若者向け消費者被害防止講座「騙されない！！大学生を狙う悪質商法」を実施した。

電気通信大学入学ガイダンス

開催日 令和5年4月8日 参加者 会場参加29人 オンライン参加631人

会場 電気通信大学

エ 出前授業（開催5回、参加者800人）

消費者教育の推進に関する法律に基づき、市教育委員会と連携し、成年年齢引き下げに伴う消費者トラブルの未然防止に向け、若年層への消費者教育を実施した。

(ア) 調布市立第六中学校

開催日 令和5年7月12日

1年生123人 テーマ「ネットのトラブルこんなときどうする？」

(イ) 調布市立柏野小学校

開催日 令和5年7月18日

5・6年生187人 テーマ「お金とネットに強くなるろう」

(ウ) 調布市立第二小学校

開催日 令和5年12月2日 土曜日の公開授業

5・6年生152人及び保護者50人 テーマ「お金とネットに強くなるろう」

(エ) 調布市立第一小学校

開催日 令和6年2月10日 土曜日の公開授業

6年生99人及び保護者33人 テーマ「お金とネットに強くなるろう」

(オ) 調布市立第七中学校

開催日 令和6年3月8日

3年生156人 テーマ「ネットのトラブルこんなときどうする？」

オ 調布市消費者団体連合会との連携

消費生活の安定及び向上を図るため、消費者被害防止の啓発活動をするもの

(ア) バス見学会

開催日 令和5年10月11日 参加者29人

見学場所 木材・合板博物館 他

目的 暮らしの中の材木の活用状況や自然環境を守る森林の現状を考える

(イ) 消費者のつどい

開催日 令和6年3月15日 参加者12人

会場 調布市文化会館たづくり12階 大会議場

目的 消費生活に役立つ内容の講座を開催して豊かな生活を目指す

「ごみの分別どうしていますか」というテーマでのサステナブル講座、消費者問題を楽しく学ぶ東京都の出前寄席ユニットアクトリーによる漫才「はっきり言おう「いらぬものはいりません！」」、季節を感じながら春の花を作るおりがみ講座を実施した。

(3) 消費者啓発用パンフレット等の作成

消費生活に関する正しい知識の啓発と消費者被害を未然に防止するため、パンフレットや冊子等を作成・配布し、啓発に努めるもの

ア 「暮らしの豆知識（2024年版）」 1,500部

イ 「生活ひとくちメモ2024」 3,000部

(4) 成年年齢引き下げに伴う啓発

成年年齢引き下げ啓発チラシ

「18歳で大人になるってどういうこと？」を作成し、市内都立及び私立高校6校の2年生を対象に、1,374枚配布した。

学校名	配布数
都立調布北高等学校	246
都立調布南高等学校	246
都立神代高等学校	287
晃華学園高等学校	148
明治大学附属明治高等学校	287
桐朋女子高等学校	160

(5) 調布市消費啓発用キャラクター「チー坊」

令和5年3月30日付で消費者庁長官から消費者教育推進大使の委嘱（継続）を受け、環境フェア内フードドライブ、市内小・中学校出前授業、消費者のつどいに参加した。

(6) 調布市消費者安全確保地域協議会の活動

市民の消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、市民が安心して生活できるよう、見守りネットワーク会議に参加し、消費者被害防止の啓発を行った。

(7) 食品ロス削減の取組

市内事業者（調布パルコ、トリエ京王調布）と連携しながら、調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と協力し、フードドライブを年3回実施した。集まった食品は、市内の子ども食堂、フードバンク調布、福祉施設等に配布した。

第1回 令和5年6月17日（環境フェア内） 集まった食品数 2,022個

第2回 令和5年10月27日 集まった食品数 1,747個

第3回 令和6年2月19日 集まった食品数 1,025個

4 生涯学習推進事業

予算科目(款・項・目) 10・35・19 [決算書143ページ]

市民の自主的な学習活動を支援することを通して、参加と協働のまちづくりを推進し、市民の生涯学習活動への参加促進及び団体活動の活性化を図るもの

(1) 調布市生涯学習推進協議会の開催

ア 概要 調布市生涯学習推進協議会条例に基づき、必要な生涯学習事業及び生涯学習施設の在り方について検討協議し、答申するもの

イ 委員構成等 有識者(1人)、大学(1人)、団体・NPO等(5人)、市民(2人)、調布市文化・コミュニティ振興財団職員(1人)をもって組織 男6人、女4人

※令和5年度は、令和4年度に協議会がとりまとめた答申を踏まえ、市の基本計画に位置付けた施策及び生涯学習の振興に向けた取組の振り返りについて協議会を開催せずに情報共有し、国や東京都の施策との連動を視野に具体的な取組について次年度に協議会を開催して議論することとした。

(2) 生涯学習情報コーナー運営事務

専門職である調布市生涯学習まちづくり推進員が、市内で活動する各種サークル・団体情報及び講師情報を窓口、電話及びホームページで市民に提供するもの

ア 相談受付時間 午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで

イ 登録数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サークル・団体数(団体)	689	672	659
講師数(人)	115	81	81

ウ 相談件数 (単位:件)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
779	858	863

エ サークルガイドブックの発行 2,000部

生涯学習サークルボランティアメニューはサークルガイドブックへ集約

オ 各種媒体を活用した情報発信

(ア) コミュニティFMによる情報提供

生涯学習や市民活動に関する情報を周知することで、市民の生涯学習や市民活動への参加を促進させることを目的として、調布エフエム放送で番組を放送した。

番組名 「生涯学習・市民活動のススメ」

放送 毎週日曜日 午前11時50分から10分間

放送内容 みんなの広場展示紹介・サークル紹介・生涯学習情報、市民活動支援センター情報

放送回数 53回(年間)

(イ) 生涯学習情報コーナーウェブサイトによる情報提供

地域情報発信の中心的な役割を担う「ちょうふ地域コミュニティサイト(ちょみつと)」との連携を図りながら、生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」で生涯学習に関する情報提供を行った。

(ウ) 市公式SNSによる情報提供

市公式X、フェイスブック、LINE等のSNSを活用し、主に地域デビュー事業等の生涯学習に関する情報発信を行った。

(3) 地域デビュー事業の実施

シニア層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的として、地域デビュー推進委員会と連携して各種事業を実施した。

講座名	実施月日	会場	参加者数（人）
地域デビュー歓迎会	10月4日	文化会館たづくり 大会議場	62
調布再発見 学習会 & 徒歩ツアー 「調布深大寺城跡と深大寺の歴史をめぐる」	11月9日, 15日	(事前学習会) 文化会館たづくり (徒歩ツアー) 市内	39 (事前学習会) 23 (徒歩ツアー) 16
ビギナーのための料理教室	12月12日, 19日	文化会館たづくり 調理室	20
踏み出そう はじめの一歩 ボランティア!	1月30日	文化会館たづくり 映像シアター	51
サークルデビューしませんか?	3月11日	文化会館たづくり 大会議場	68

(4) 生涯学習サークル体験事業の実施

市民が生涯学習の楽しさを知り、地域との関わりを持つ機会を提供することを目的として、新たにサークル活動を始める方への支援や団体活動の更なる活性化に向けた取組を行った。

ア 生涯学習サークル体験事業の実施

体験者を受け入れるサークルの活動について市報で参加者を募集した。

(ア) 参加団体 21サークル

(イ) 参加申請者 86人

(5) 生涯学習出前講座の実施

ア 総講座数

市役所編 135講座 (子ども向け講座 22講座を含む。)

イ 実施状況

111件 (うちオンラインでの実施 1件)

(6) 市民が主役のまちづくり大学事業

大学・地域・行政の連携に関する市民の認識を深め、これからの魅力あるまちづくりにおける市民の積極的な参加の促進などを図るもの

ア 相互友好協力協定締結大学定例会の実施

文化、教育、学術、スポーツ等の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的として、相互友好協力協定を締結している地域の7つの大学等と、市との連携事業や各大学等の市民向けの取組に関して定期的に意見交換する場を設けた。

実施年月日 令和5年6月2日, 12月22日

イ 各大学等との連携

(ア) サイエンスカフェ C h o f u の開催

電気通信大学との共催により、平成29年度から実施しているサイエンスカフェ C h o f u を全4回開催した。令和5年度は、オンライン(2回)、対面とオンライン併用(2回)で開催した。

開催回	実施月日	テーマ	講師	参加者数 (人)
第28回	6月10日	「声」を理解する人工知能	中鹿 亘准教授（電気通信大学）	53
第29回	10月14日	いろいろなものをディスプレイに変える 「どこでもディスプレイ技術」	橋本 直己教授（電気通信大学大学院 情報理工学研究科・情報学専攻）	21
第30回	12月16日	動物が光を感じる仕組み～視細胞のはたらきを探る～	橋木 修志教授（東京慈恵会医科大学 生物学研究室）	25
第31回	2月10日	音楽を科学する	金森 哉吏教授（電気通信大学大学院 情報理工学研究科） 饗庭 絵里子准教授（電気通信大学大学院 情報理工学研究科）	41

ウ 市報ちょうふ「相互友好協力協定締結大学の市民対象の事業紹介」掲載

毎月5日号の市報ちょうふに大学が実施する市民対象事業の紹介記事を掲載した。

また、同内容をホームページ及び生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」にも掲載した。

(7) みんなの広場運営事務

市民、生涯学習・市民活動団体が、自由に生涯学習活動を行う場を提供するため、文化会館たづくり11階のみんなの広場（打合せや展示スペース）の貸出しをするもの

ア 運営概要

利用時間 午前9時から午後9時30分まで

用途 打合せ・作業，作品展示

対象 生涯学習・市民活動団体，市民グループ，個人学習

イ 利用状況

(ア) 打合せ・作業等

活動分野 年度		社会福祉	教育・文化・スポーツ	国際交流	まちづくり	環境保全	保健医療	行政	その他	個人学習	合計
		利用団体数 (団体)	3	176	1,121	132	53	24	2	32	179
	4	209	1,387	177	68	27	6	33	157		2,064
	5	220	1694	205	79	24	4	46	243		2,515
利用人数 (人数)	3	1,042	5,262	375	303	116	5	140	674	210	8,127
	4	1,110	6,680	501	390	141	27	140	555	150	9,694
	5	1,260	8,528	599	402	137	14	149	781	418	12,288

(イ) 作品展示

年度	合計
利用団体数 (団体)	3
	4
	5
	15
	20
	16

利用延べ日数 (日)	3	87
	4	122
	5	110

※ 利用延べ日数には、準備のために利用した日を含む。利用団体数及び利用延べ日数は、展示の初日が属する月で集計した。

5 調布市グリーンホール 予算科目(款・項・目) 10・35・30 [決算書147ページ]

グリーンホールは、大小2つのホールを擁し、文化芸術企画の提供と市民文化活動の拠点として使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、稼働日309日、1施設当たり使用可能単位927単位

年 度		大ホール	小ホール	合 計
使用件数 (件)	3	496	515	1,011
	4	792	775	1,567
	5	746	757	1,503
稼働率 (%)	3	67	69	
	4	86	84	
	5	80	82	
来場者数 (人)	3	47,630	17,943	65,573
	4	107,650	28,024	135,674
	5	118,513	28,379	146,892

(2) 施設整備に関する取組

令和4年度に引き続き、新たなグリーンホールの整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからのアドバイザー支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、これまでの施設利用団体との意見交換等を踏まえ、グリーンホールの整備に関する検討会設置に向けて、構成メンバーや検討内容等について検討を行った。

また、市民の皆様のご意見を広く聞くために「新たなグリーンホールの整備に向けたオープンハウス」や関係団体との意見交換を実施した。

(3) 施設工事・改修状況

ア 舞台高所作業落下防止システム設置工事

イ 空調及び衛生設備補修

6 調布市文化会館たづくり

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書147ページ]

文化会館たづくりは、文化芸術、コミュニティ活動及び生涯学習の拠点施設として種々の事業を実施しており、市民はもとより大勢の人々に使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 入館者等の状況

月	区分	入館者数(人)		使用台数(台)	
			(うち図書館)	駐車場	駐輪場
4		97,567	39,538	3,842	8,162
5		93,293	38,882	3,955	8,417
6		103,823	40,143	3,984	8,710
7		121,742	45,056	4,570	10,702
8		106,753	45,582	4,483	10,309
9		115,213	37,515	4,294	8,896
10		130,391	40,824	4,301	10,821
11		145,223	38,784	4,203	10,695
12		139,890	38,539	3,885	9,271
1		130,268	38,677	3,748	9,178
2		131,759	35,497	3,673	7,650
3		149,736	41,387	4,533	8,549
合 計	3年度	1,396,476	404,565	45,271	87,848
	4年度	1,425,217	477,306	43,896	102,620
	5年度	1,465,658	480,424	49,471	111,360
月平均	3年度	116,373	33,714	3,773	7,321
	4年度	118,768	39,776	3,658	8,552
	5年度	122,138	40,035	4,123	9,280

(2) 施設使用状況

ア ホール系

6施設、稼働日332日、1施設当たり使用可能単位996単位

区分 年度		くすのき ホール	むらさき ホール	大会議場	映像 シアター	ギャラリー		合 計
						南	北	
使用 件数 (件)	3	751	850	570	499	786	742	4,198
	4	152	708	279	506	753	795	3,193
	5	876	961	735	696	840	837	4,945
稼働 率 (%)	3	80	91	61	53	84	80	
	4	96	94	70	69	76	80	
	5	88	96	74	70	84	84	

※ みんなの広場の利用状況は、「4(6) みんなの広場運営事務」において掲載。

イ 諸室系

34施設、稼働日332日、1施設当たり使用可能単位996単位

区分 年度		リハーサル 室	音楽練習 室(4室)	研修室	和 室 (3室)	学習室 (小2室)	学習室 (大2室)
4	681	3,499	779	1,492	1,443	1,534	
5	930	3,683	758	2,113	1,432	1,564	
稼働 率	3	86	80	74	59	63	74
	4	90	88	78	50	73	77

(%)	5	93	92	76	71	72	79
-----	---	----	----	----	----	----	----

区分 年度		調理実習室	談話室	会議室 (小9室)	会議室 (大2室)	茶室	創作室 (2室)
		使用 件数 (件)	3	274	242	5,739	1,179
	4	368	324	6,709	1,482	314	1,131
	5	435	373	7,189	1,496	393	1,113
稼働 率 (%)	3	29	26	68	63	24	57
	4	37	33	75	75	32	57
	5	44	37	80	75	39	56

区分 年度		暗室	スタジオ	保育室 (3室)	合計
		使用 件数 (件)	3	101	467
	4	130	525	691	21,102
	5	130	530	596	22,735
稼働 率 (%)	3	11	50	17	
	4	13	53	70	
	5	13	53	20	

※ 編集室はビデオ等の編集に使用する場所で、部屋のみの貸出しは行っていないため
施設使用状況には含めていない。

ウ 個人学習室

(単位：人)

区分		一般学習室	社会人学習室	合計
合計	3年度	65,724	18,281	84,005
	4年度	86,207	28,993	115,200
	5年度	96,692	30,175	126,867

エ 図書館

(単位：人)

区分		4階	5階	ハンディ キャップ サービス	視聴覚 資料室	合計
合計	3年度	283,111	102,349	2,045	20,589	408,094
	4年度	334,292	120,388	2,724	20,414	477,818
	5年度	327,053	132,449	3,054	17,603	480,159
月平均	3年度	23,593	8,529	170	1,716	34,008
	4年度	27,858	10,032	227	1,701	39,818
	5年度	27,254	11,037	255	1,467	40,013

※ 資料提供：図書館

(3) 施設工事・改修状況

ア 3階305会議室個別空調設置工事

イ 舞台高所作業落下防止システム設置工事

ウ 3段式機械駐車場吊チェーン・スプロケット更新

エ アトリウムトップライト修繕

(4) 設備更新型ESCO事業

空調熱源の更新及びエレベーター等の改修について、省エネルギー効果を見込む設備更新型ESCO事業として令和4年度に引き続き実施し、令和5年6月30日に完了した。

省エネルギーサービス提供期間 令和4年5月1日から令和14年3月31日まで

7 文化・コミュニティ振興財団補助(事業)

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書147ページ]

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に対し、財団が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの

(1) 共催事業

(単位：人)

事業名	実施月日	会場	参加者又は 視聴者数	事業内容
調布国際音楽祭2023	6月24日 ～7月2日	文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、深大寺、布多天神社、調布駅前広場	延べ 12,750	世界で活躍するアーティストによるコンサートのほか、キッズコンサートや桐朋学園大学の学生による公演、深大寺本堂でのコンサートなどを開催するもの
調布よさこい2023	8月26日		延べ 33,300	よさこい踊りを通じて、踊り手、来場者及び地元商店会等の地域住民の交流を図ることを目的に開催するもの
映画のまち調布シネマフェスティバル2024	1月26日 ～2月18日	文化会館たづくり、グリーンホール、イオンシネマシアタス調布	延べ 35,838	市内の映画・映像関連企業、団体と連携し、作り手にスポットを当てた映画祭として開催するもの 市民投票と選考委員で選定する「第6回映画のまち調布賞」の授賞式のほか、投票上位作品の上映、関連展示等を行った。 市民投票総数 15,237票

8 せんがわ劇場

予算科目(款・項・目) 10・35・40 [決算書149ページ]

せんがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点、身近に文化芸術に触れる機会を提供する場として使用されているもの

令和元年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和5年10月18日及び30日に実施したせんがわ劇場指定管理者候補者選定審査委員会での審査結果に基づき、令和6年度から新たに5年間を指定管理期間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、ホール、稼働日318日、使用可能単位954単位

リハーサル室、稼働日348日、使用可能単位1,044単位

年度	ホール	リハーサル室	合計
使用件数 (件)	3	808	827
	4	594	502
	5	874	864
稼働率	3	83	85

(%)	4	91	89
	5	92	83
使用可能 単位 (単位)	3	971	971
	4	654	565
	5	954	1,044

(2) 施設工事・改修状況

舞台高所作業落下防止システム設置工事